

2026年2月4日

コーチ研修制度改定ポイント

公益財団法人スペシャルオリンピックス日本
スポーツプログラム委員会監修

目次

- 1、はじめに
 - 2、改定のポイント
 - 3、コーチ研修制度改定の概要
 - 4、コーチクリニック申請から実施報告まで
 - 5、CC 申請について
 - 6、コーチ研修システム& 資格システム
(付録)
- 【書式A】コーチクリニック(競技)_個人情報取得同意書(別添:同書式原本)

1、はじめに

スペシャルオリンピックスにおける「コーチ」は、誰しもがボランティアとして参加することができる一方で、たいへん重要な役割を担っています。それは、スペシャルオリンピックスのコーチには、単にスポーツのコーチング能力だけでなく、知的障害のあるアスリートに対する幅広い知識と深い理解、責任も必要だからです。そのため、これまでもコーチクリニック等のコーチ研修の場が設けられてきました。

日本国内のスペシャルオリンピックス活動は 30 年を超え、幅広い年齢や障害程度、競技能力のアスリートが参加する活動となってきました。このようなアスリートの変化に対応し、さらなる活動の充実を図るためには、コーチの拡充が求められます。また、近年のコーチの動向をみると、約 1 割が新規登録のコーチで、残りの 9 割が既存のコーチとなっています。そのため、大多数を占める既存のコーチに対して、新たな気づきや学びを得られるような仕組みを作ることが必要と考えられます。

そこで、これまでのコーチ研修制度をベースにし、部分的な改定によって、コーチ研修制度を前に進めることにしました。ですから、コーチ研修制度の実施方法や手順は変わりますが、その目標(ゴール)はこれまでと同じです。

【コーチ研修制度の目標】

- ① スペシャルオリンピックスの使命を推し進める
- ② アスリートに可能な限り安全かつ効果的なトレーニングを提供する
- ③ コーチたちのトレーニング及びコーチングの技術を高める
- ④ コーチたちが常に最新のルールとトレーニング技術に通じているようにする
- ⑤ プログラム及びコーチがトレーニングの中で柔軟性を持てるようにする
- ⑥ 世界を通じたコーチングの一貫性を図る
- ⑦ スポーツ及びプログラムの信頼性を示す
- ⑧ 障害のある人たちへの理解を深め、どの分野でどの程度の援助が必要かを考える

2、改定のポイント

(1) コーチの経験に応じた学びの提供

スペシャルオリンピックスにおけるコーチの経験の有無に応じた段階的な学びを提供します。これからコーチになろうとする方(新規登録希望者)には、スペシャルオリンピックスの活動の中でコーチングするための導入として、基本的な内容を学んでいただきます。一方、コーチ経験のある方に対しては、より広く、より深い学びを得られるような研修を提供します。

(2) 研修を受けることができる機会の増加

オンライン型の研修を取り入れることで、個人レベルで自由にどこからでも参加できる研修を増やします。これまでのコーチクリニックでは、地区組織で開催日程をまとめ、特定の場所に集まって受講する必要がありました。オンライン型の研修では、どこからでも参加することができ、遠方の会場へ移動する必要がなくなります。また、オンデマンド形式(動画視聴やオンラインフォームへの回答)の研修では、巻き戻しをしたり、繰り返して見直したりすることもできるため、自分のペースで受講することも可能になります。(すべてがオンライン型の研修に代わるわけではありません)

※オンデマンド型のイメージ



オンデマンド形式とは

オンデマンド形式の研修とは、研修内容を配信し、受講者それぞれが、それぞれのペースで学ぶことができる研修形態です。受講者が任意の時間や場所でできることや、繰り返し学べることの利点があります。

(3) 多様な学びの提供

コーチ経験のある方を対象にした研修の中にはテーマを多数設定した研修を設け、その中から地区組織やコーチ自身が学びたいテーマを選択することが可能になります。それらの研修は、日頃の活動での課題やニーズを解決するための糸口となることを目指しています。(テーマは改めて公表します。)

3、コーチ研修制度改定の概要

コーチ資格 一覧

- (1)スタートコーチ
- (2)コーチ1
- (3)コーチ2
- (4) コーチ3

資格	求められる役割
スタートコーチ	スタートコーチは、これまでスペシャルオリンピックスで認定コーチとして、各地区においてスポーツプログラムや競技会の運営を支えてきた。引き続き、それらの運営を支えるとともに、コーチとしてさらなるスキルアップを図る。
コーチ1	コーチ1は、各地区においてスポーツプログラムや競技会の運営を支える。 どんなボランティアでもスポーツアシスタントになることができる。 競技者、運営管理者、コーチとしての経験は不要である。
コーチ2	コーチ2は、計画と実行を支える重要な役割を担う。 スポーツスキルの指導やトレーニングの計画・実施、アスリートの観察と助言、チーム指導、効果的なコミュニケーションなどを通じて、アスリートの能力を引き出し、挑戦と成功の機会を提供する。 役割は多岐にわたるが、ヘッドコーチと協力し、必要に応じてヘッドコーチに提案を行う姿勢も求められる。
コーチ3	コーチ3は、観察・分析・助言を通じてアスリートの成長を支えるとともに、アシスタントの指導・育成も担う。 トレーニングでは、個々のニーズに応じた長期的かつ柔軟な計画を組む。 ユニファイドスポーツやヤングアスリートプログラムを理解し、実践に取り組む。 また、健康的な生活習慣や競技準備の支援を通じて、アスリートのフィットネス向上にも寄与する。コーチはヘッドコーチに報告・連携し、チーム全体の運営を支える。

【1】スタートコーチ

2025年8月31日時点で認定コーチ(旧資格)の有資格者および認定要件を満たす者を、スタートコーチに自動移行する。左記期日以降は、新規認定を行わない。

【2】コーチ1

以下の①～③すべてを満たすことで、コーチ1を申請することができる。

新規にコーチ資格を取得する場合は、コーチ1から研修を開始することができる(前段階としてスタートコーチを取得する必要はない)。

要件	①ラーニングポータル(Sport: Coaching Level 1 Sport Assistant)	②コーチクリニック(競技)	
目的	スペシャルオリンピックスでコーチとして活動を始め方が、安全で楽しく、充実したスポーツプログラムを提供できるようになるために、スペシャルオリンピックスの活動の目的や独自性、ルールを正しく理解することや、また、知的障害のあるアスリートの特性やそれに応じた対応方法を学ぶことを目的とする。	スペシャルオリンピックスでコーチとして活動を始め方が、安全で楽しく、充実したスポーツプログラムを提供できるようになるために、当該競技への理解を深めることや、当該競技におけるスペシャルオリンピックスのスポーツルールや競技会の基本的な特徴を学ぶことを目的とする。	
対象	コーチとして活動することを希望する方	当該競技でコーチとして活動することを希望する方 (当該競技で初めてコーチクリニックを受講する方)	
実施方法	オンデマンド型(ラーニングポータル)	【座学】(※1) オンデマンド型(YouTube、理解度チェック)	【実技】 対面型(※1)
受講方法	個人型	個人型・集合型	集合型
時間	60分程度	45-60分(※2)	90-120分
講師		競技部会	トレーナー、トレーナー候補 (NT・LT・ST)
講師手配			コーディネーター
資料		投影用スライドを基にした 動画(YouTube)配布用スライド	※ 競技ごとに、使用する資料 (ルールブックや競技別資料など)が異なる。 ※ 担当トレーナーと地区組織にて打ち合わせの上、ご準備ください。
費用負担			SON負担: 講師交通費、宿泊付パック料金、用具輸送費 地区負担: 講師宿泊費、会場費、通信費、印刷代、備品代等
③実働経験 当該競技プログラムに、10時間(5回)以上コーチとして参加すること。			

※1 一部の競技等に限る、オンライン型(リアルタイム: Zoom)で実施する場合がある。

※2 ユニファイドスポーツについてもラーニングポータルでの受講とする。

※3 ラーニングポータルとは、スペシャルオリンピックス国際本部が提供するオンライン研修システムを指す。

※4 スタートコーチ(旧資格: 認定コーチ)取得済みの者は「①ラーニングポータル(コーチレベル1)」の受講のみで申請できる。この場合、「②コーチクリニック(競技)」および「③実働経験」を免除する。

【3】コーチ2

コーチ1取得者は、以下の①を受講することで、コーチ2を申請することができる。

①ラーニングポータル(Sport: Coaching - Level 2 Coach Assistant)

※コーチクリニック(競技)の再受講、実働経験は不要である。コーチ1取得後の経験年数は問わない。

【4】コーチ3

コーチ2取得者は、以下の①を受講することで、コーチ3を申請することができる。

①ラーニングポータル(Sport: Coaching - Level 3 Coach)

※コーチクリニック(競技)の再受講、実働経験は不要である。コーチ2取得後の経験年数は問わない。

【5】ユニファイドスポーツコーチ

スタートコーチまたはコーチ1以上を取得済みの者またはそれらの要件となる研修をすべて受講した者は、以下の①を受講することと②実働経験を満たすことで、ユニファイドスポーツのコーチ資格を申請することができる。

①ラーニングポータル(Sport: Special Olympics Unified Sports Coaching Course)

②実働経験: 当該競技のユニファイドスポーツプログラムに、10 時間(5 回)以上コーチとして参加すること

※ユニファイドスポーツはコーチクリニック(競技・実技)を実施しない。

※2025年8月31日以前に旧制度でユニファイドスポーツのコーチ資格を取得済みの者は、「①ラーニングポータル(Sport: Special Olympics Unified Sports Coaching Course)」を再受講する必要がある。この場合、「②実働経験」を免除する。

【特記事項】

・2026年1月より、修了証(ディプロマ)を再採番のうえ、交付を行う。なお修了証は、セールスフォース地区組織「メモ&ファイル」にてマスターデータを格納しており、各地区組織にて印刷の上、配布を行う。



・ラーニングポータルは受講完了後に修了証が発行される。修了証は各自ラーニングポータル上からダウンロードすることができる。

【コーチクリニック(ゼネラルオリエンテーション&アスリート理解) 補足説明】

・コーチクリニック(GOA)はラーニングポータル(レベル1～3)へ移行することに伴い、廃止とする。しかし、本研修制度および資格認定に関与しない研修については、地区組織の主催によって開催することを妨げない(開催費用、交通費等は地区組織負担)。そのための参考資料として、当面の間、コーチクリニック(GOA)、更新講習の資料をSONリソースページからダウンロードできるようにする。なお、SONトレーナーを招へいする場合には、各ブロックのコーディネーターにトレーナーの推薦を依頼すること。(セールスフォースでの申請の必要はない)

【コーチクリニック(競技) 補足説明】

・座学(オンデマンド型)を受講後、実技(対面型)を受講することとし、必ず両方受講することとする。

なお、座学は実技受講前1カ月以内に受講することとする。

・各競技の座学(オンデマンド型)では、動画(youtube)視聴と理解度チェックの回答が必要である。競技によっては、動画内の学習内容と理解度チェックを一体化した形式(Googleフォーム)へ移行する場合がある。

・各競技の座学動画は、SON ホームページリソースページ「コーチ研修」⇒「コーチクリニック」⇒「競技オンデマンド動画」に記載のリンクより視聴できる。理解度チェックは、各動画(youtube)の概要欄に記載されているリンクから回答できる。座学受講には必ずメールアドレスが必要である。

・座学の受講証明は、理解度チェック後に送信される回答メールを証明とする。回答メールの紛失などによる再配信は原則対応しない。(紛失した場合は再度理解度チェックを受講すること)

・実技の中で座学に関する質疑応答や補足を行うことを可能とする(座学は対面型では実施しない)。

・コーチクリニックにおけるトレーナー派遣については、下記のとおりとする。

原則として、トレーナー派遣は開催ブロック内のトレーナーを優先するものとする。ただし、以下のいずれかに該当する場合には、開催ブロック外からのトレーナー派遣を検討することができる。

①ブロック内に、当該競技を担当できるトレーナーが在籍していない場合

②ブロック内に当該競技を担当できるトレーナーが在籍しているものの、派遣費用面において、開催ブロック外からの派遣のほうが合理的である場合

①または②の場合、コーディネーターは「トレーナーブロック外派遣理由書」を提出し、派遣の妥当性について検討を行った上で、承認を得るものとする。

なお、上記以外の理由(例：日程上の都合等)により派遣が困難な場合については、原則として開催日程の再調整を行うものとし、ブロック外からの派遣は行わない。

・すでに当該競技でコーチ資格を有する者も受講可能である。ただし、当該競技でコーチとして活動を始め方(当該競技で初めてコーチクリニックを受講する方)を含まない場合はコーチクリニックを開催できない(初受講者の最少 受講人数 5 名)。あくまで、コーチクリニックは当該競技において初めてコーチクリニックを受講する方を対象とした研修会である。

・すでにコーチ資格を有する方で、新たに競技を追加する場合は、その競技のコーチクリニック(座学・実技)を受講し、実働経験を経て、地区事務局へ「コーチ新規競技追加申請書」を提出する。ラーニングポータルは競技共通のため、新競技追加のために再受講する必要はない。なお、新競技追加については、セールスフォースのコーチデータベースで追加を行うこと。

【コーチアカデミー補足説明】

・現在試行中(開始時期未定)

・2025 年度より、新たな開催方法を検討中である。

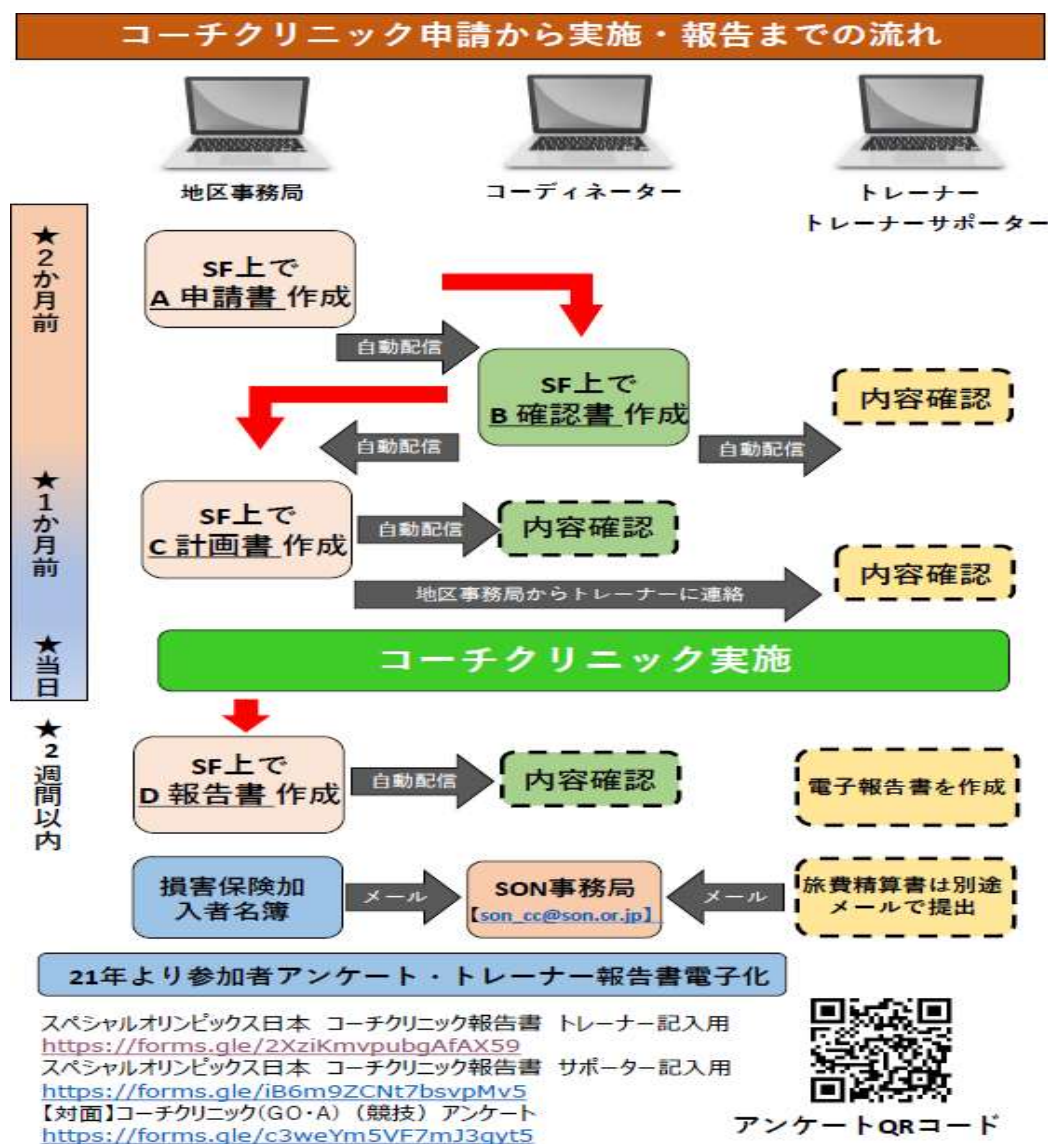
・認定コーチ研修会は廃止し、競技共通のコンテンツとしてコーチアカデミーに統合し、研修名称を統一する。

4、コーチクリニック申請から実施報告まで

セールスフォース(以下、SF)を使用した申請は、対面型のコーチクリニック(競技)のみ申請を行います。SF の書式内容も一部改定していますが SF を使用する場合は、申請から実施報告は SF 上で行います。また、2021 年よりコーチクリニック(対面)の参加者アンケート及びトレーナー、サポーター報告書の電子申請に移行しております。電子化の書類等につきましてはリソースページ(トレーナーページ)にアップしております。コーチクリニック(競技)では、実技に関して SF を使用した申請となり、座学に関してオンライン型となるため SF での申請は不要です。

(詳細は「セールスフォースCC 申請システム操作マニュアル Ver.1」を参照)

コーチクリニック申請システムは、世界的に高いシェアを誇るアメリカ発のセールスフォース CRM システムを活用し構築されています。



注1) 申請書の提出期限は、実施希望日 2 ヶ月前です

※期限を過ぎた場合、コーディネートの関係上希望日で実施できない場合がございます。

・コーディネーター一覧（2026 年 3 月 31 日まで）

ブロック	コーディネーター名	所属地区
北海道・東北	細谷 一博	SON・北海道
	井上 圭子	SON・山形
関東	渡邊 光春	SON・千葉
	小瀬村 良史	SON・神奈川
東海・北信越	皆木 伸介	SON・新潟
	松田 則雄	SON・愛知
近畿	菊 雅章	SON・滋賀
	田崎 幾美	SON・兵庫
中国・四国	妹尾 千恵子	SON・岡山
	宮本 恵理	SON・広島
	田所 健作	SON・徳島
九州	宮脇 美歩	SON・鹿児島
	橋本 和彦	SON・熊本

5、コーチクリニックの申請について

申請は 1 申請 1 競技とします。同日に複数競技の CC を実施する場合でも、それぞれ1つずつ申請をお願いします。

なお、CC(競技)の実技を実施する際には、書式 A「競技(対面) 個人情報取得同意書」を印刷し、受講者から同意書の署名をもらってください。

受講後、原則 3 日以内(消印有効)に書式 A「競技(対面) 個人情報取得同意書」の受講者が署名した原本を地区事務局から SON 事務局に提出(郵送)してください。なお、当日に欠席者がいた場合は、欠席者の名前がわかるように「受講者名簿」に印を付け、同封してください。

郵送はレターパックなど、必ず配達履歴がわかるものを利用してください。 個人情報が含まれる書類のため、一般郵便の郵送はおやめください。

【セールスフォース 新申請書 画面】

申請書基本情報

CC申請件名 申請状況 申込日

地区組織情報

地区組織名 CC地区担当者
TEL(CC担当者)
FAX(CC担当者)
E-MAIL(CC担当者)

CC実施内容

申請はGOA or 競技 1 申請 1 競技の定義より競技の選択をする。
実施会場
受講予定人数
競技1

希望日時

第1希望日 第2希望日
第1希望日開始時間 第2希望日開始時間
第1希望日終了時間 第2希望日終了時間

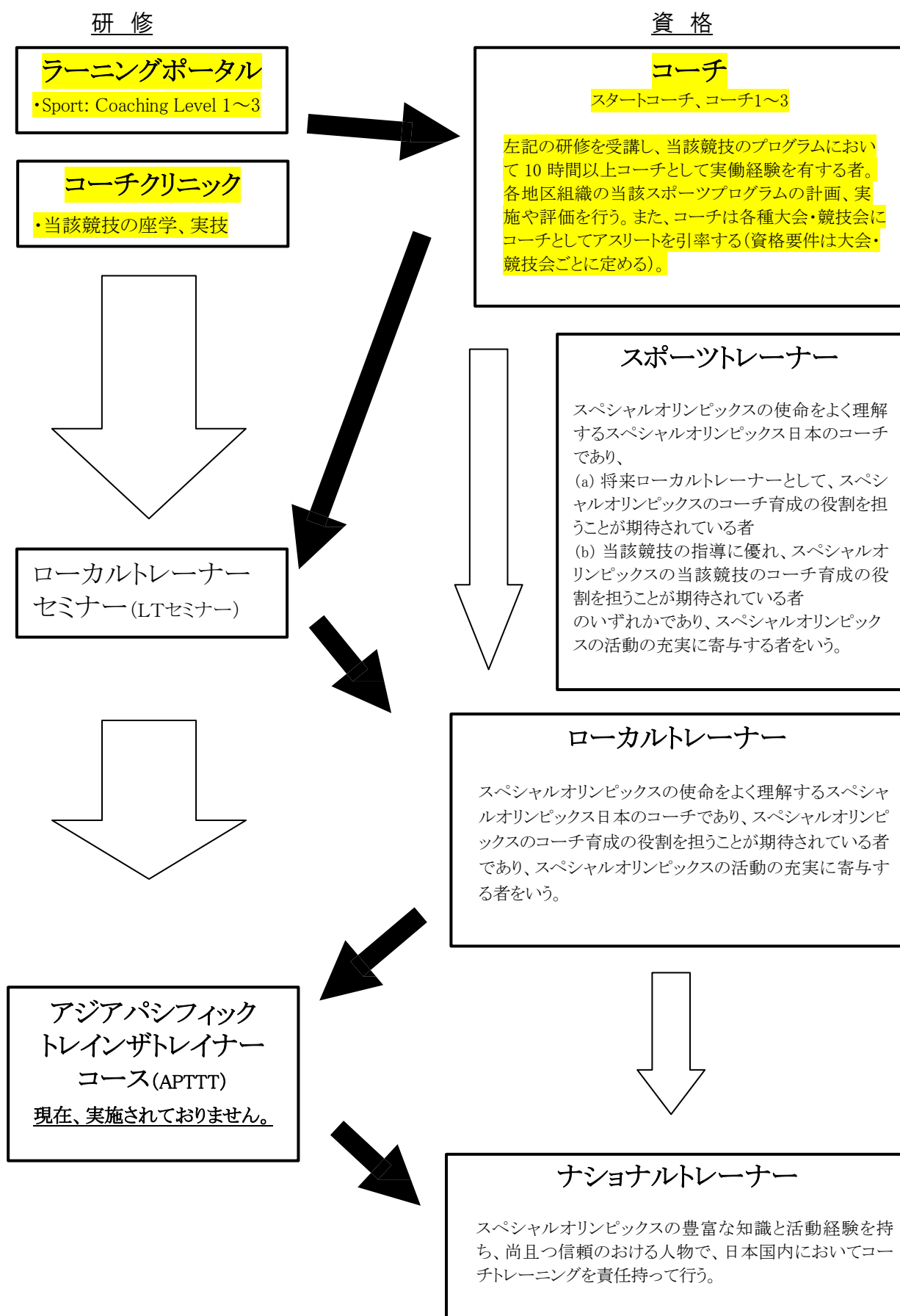
参考事項

プログラム実施状況
コーチクリニック実施回数

すべて記入が終わったら、いったん【保存】ボタンをクリックしてから、申請書を提出してください。

コーチクリニック・競技について、申請競技が以前 3 つまで記入出来ましたが「1 つ」の未記入の方式に変更をしました。ご注意ください。

6、コーチ研修システム&資格システム



【書式 A】

公益財団法人スペシャルオリンピックス日本 コーチクリニック(競技対面) 個人情報取得同意書

公益財団法人スペシャルオリンピックス・日本

理事長 平岡 拓晃 様

開催日	202 年 月 日	開催地区	
フリガナ			
氏名			
住所	〒 -		
電話番号		E-mail	

個人情報の取り扱いについて

スペシャルオリンピックス日本では、いただいた個人情報を以下の通り取扱います。取扱いにご同意いただきますようお願いいたします。

1. 個人情報の利用目的

公益財団法人スペシャルオリンピックス日本(以下、法人という)は、個人情報を以下の目的のために利用します。なお、提供された個人情報を適切に管理し、これ以外の目的には利用しません。

- (1)本講習会に参加する為の会議 URL の送付。
- (2)本講習会に関する、アンケート等の連絡業務。
- (3)以下【2】に記載の第三者への提供

2. 個人情報の第三者提供について

法人は、個人情報を以下の通り第三者に提供いたします。

- (1) 情報を提供する第三者： 所属するスペシャルオリンピックス日本地区組織
※地区組織一覧をご確認ください(<https://www.son.or.jp/inquiry/district/>)
 - (2) 提供する個人情報： 名前、電話番号、メールアドレス、住所
 - (3) 第三者における利用目的： 講習会参加履歴の確認、活動希望地区への連絡先提供
 - (4) 個人情報の管理責任者：公益財団法人スペシャルオリンピックス日本
- その他の個人情報の取り扱いについては以下の「個人情報に関する基本方針」をご確認ください。

裏面に記載しております。必ずご確認ください。

個人情報に関する基本方針

公益財団法人スペシャルオリンピックス日本(以下、法人という)は、高度情報通信社会の進展に伴う個人情報保護の重要性を認識し、個人情報保護法に基づき、次の方針により個人情報の保護に取り組みます。

1. 利用目的の特定、利用目的による制限について

法人は、個人情報を取り扱うに当たり、その利用目的を特定します。

法人は、本人の同意を得た場合及び法令に定める場合を除き、特定された利用目的の達成に必要な範囲で個人情報を利用します。

2. 適正な取得、取得に際しての利用目的の通知について

法人は、適法かつ適正な手段により個人情報を取得します。

法人は、個人情報を取得する際には、正当な理由がある場合を除きその利用目的を明示します。

3. データ内容の正確性の確保について

法人は、利用目的の達成に必要な範囲内で、個人情報を正確かつ最新の内容に保つよう努力します。

4. 安全管理措置について

法人は、個人情報の安全管理のために必要かつ適切な措置を講じます。

5. 第三者提供の制限について

法人は、法令に定める場合を除き、個人情報を事前に本人の同意を得ることなく第三者に提供しません。

法人は、個人情報を第三者と共同利用し、又は個人情報の取扱いを第三者に委託するときには、当該第三者について厳正な調査を行い、秘密保持のため適正な指導・監督を行います。

6. 開示・訂正・追加・利用停止・消去等について

法人は、本人が自己の個人情報について開示・訂正・追加・利用停止・消去等を求める権利を有していることを確認し、これらの要求がある場合は速やかに対応します。

7. 個人情報保護規程の策定・実施・維持・改善について

法人は、この方針を実行するため、個人情報保護規程を策定し、これを法人従業者その他関係者に周知徹底させて実施し、維持し、継続的に改善します。

8. 問い合わせについて

本方針に関する問合せ、要望、苦情等を以下の窓口にて受け付け、迅速かつ適切に取り組みます。

公益財団法人 スペシャルオリンピックス日本事務局

TEL:03-6809-2034 / FAX:03-3436-3666 E-mail:tokyo.office@son.or.jp

20 年 月 日

署名 _____

公益財団法人 **スペシャルオリンピックス日本**

住所：〒105-0003 東京都港区西新橋 2-22-1 西新橋 2 丁目 7 階 TEL: 03-6809-2034 FAX: 03-3436-3666

<https://www.son.or.jp>